

デンソールの価値創造プロセス

環境・安心の価値を最大化し、 社会とともに成長を続ける

デンソーは、社会課題解決を起点に、培ってきた強みと資本を活かして事業活動を行う価値創造プロセスを推進することで、サステナビリティ経営を実践しています。これにより、持続可能な社会への貢献と企業価値の向上を目指します。

受け継がれるサステナビリティ経営 □ P.28-29

社会に提供する主な価値と指標(2025年度)

- ➡ モノづくりに関するカーボンニュートラル実現: 再生可能エネルギー調達とクレジット活用による工場におけるカーボンニュートラル(2035年度クレジットなしでのカーボンニュートラル)
- ➡ 環境にやさしいモビリティ社会への貢献: 電動化製品の普及(インバータ生産台数: 1,200万台/熱マネジメント製品生産台数: 280万台/電源システム生産台数: 760万台)
- ➡ 交通事故死者ゼロへの貢献: 自社安全製品の死亡事故に対するカバー率56%(2035年度100%を目指す)

主な財務価値と指標(2025年度)

- ➡ エクイティスプレッドの中長期での拡大(ROE: 10%超/営業利益率: 10%)
- ➡ 事業ポートフォリオ変革によるキャッシュ創出(電動化領域売上収益: 1兆円/先進運転支援システム(ADAS)領域売上収益: 5,000億円)
- ➡ 規律を持った抑制と、意思を持った投入の両立(設備投資額: 3,500億円/研究開発費: 4,500億円)
- ➡ 株主への長期・安定的な還元(DOE: 3.0%以上、機動的な自己株式の取得)

持続可能な社会の実現

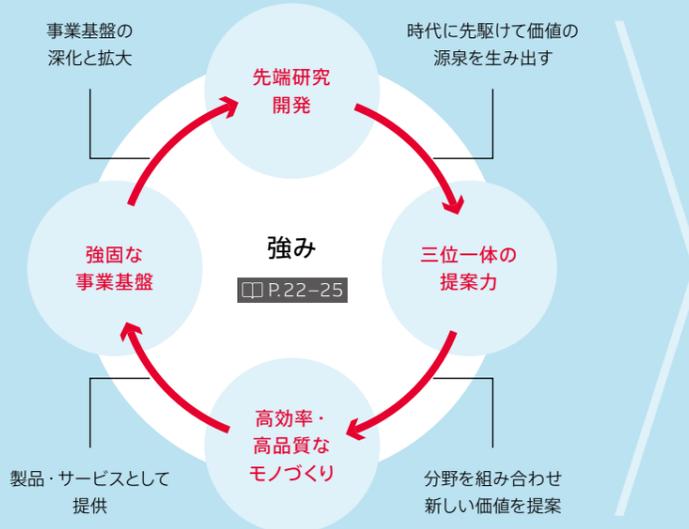
企業活動を通じてSDGsの達成に貢献



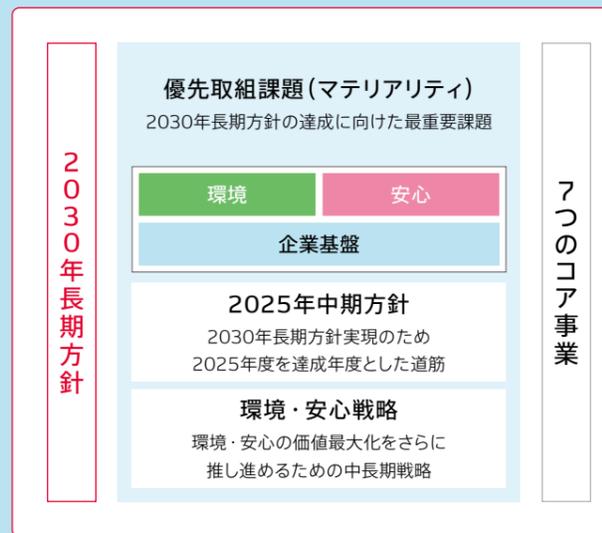
資本の強化

強みの強化

強みのサイクル



成長戦略

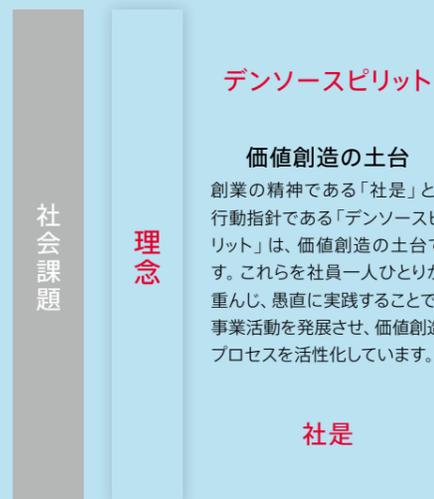


事業別概況 □ P.48-65

3つの注力分野の発展



デンソールの目指す姿
環境と安心の価値を最大化し、共感を生む



価値創造を支える基盤



価値創造を毀損する要因の抑制

価値創造を毀損する恐れのあるリスクに対して対応策を実践しています。
「環境」価値の最大化に向けた取り組み □ P.90-93
リスクマネジメント・コンプライアンス □ P.114-118
人権への取り組み □ P.96